



議会だより

今回の定例会 3月 6月 9月 12月



主な内容 ✨ 令和7年12月定例会

P2～ 令和7年度補正予算

P4～ まちづくりを問う（一般質問）

P18 正副議長の動向 ほか

P19 定例会の議案と審議結果一覧

P20～ 各常任委員会視察報告

P24 市民の声（印西中学校3年 松本さん）

12月 定例会

12月定例会は、11月28日から12月18日までの21日間の会期で開催しました。今定例会では、市長から「令和7年度印西市一般会計補正予算」など議案25件、諮問1件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。審議結果は19ページに掲載しています。

令和7年度補正予算〈予算審査常任委員会〉



令和7年度一般会計補正予算（第4号）は、12月8日に予算審査常任委員会にて委員10人出席のもと審査を行い、全会一致で原案どおり可決されました。主な内容については、次のページで紹介していきます。

一緒に見てみましょう！



【議案第11号】 令和7年度印西市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の補正

補正前の額	補正額	補正後の額
560億8,659万5千円	6億1,363万5千円	567億23万円

今回の歳入歳出予算の補正額は上記のとおりです。その他に継続費の補正、繰越明許費の設定、債務負担行為の補正があります。

まず、歳入の増加要因として補正額が大きかったものは、「個人市民税」の5億9,900万円と、「固定資産税」の33億2,298万5千円があります。

個人市民税については、民間企業における賃上げや人事院勧告による給与引き上げなどにより、給与所得が増加し、当初の見込みを上回ったことが主な要因です。

また、固定資産税については、9月末時点で主要企業を含む事業所からの償却資産等に関する修正申告等により、調定額が予算額を上回ったためです。昨年度と比較しても、新規企業の参入などにより増加傾向が見られます。

歳出では障害者自立支援給付事業、給食センター事業、民間保育園の保育委託に関する経費など、債務負担行為の追加では送迎保育ステーション事業運営業務委託、道路等補修工事、道路等草刈業務委託、中学生平和学習派遣事業業務委託、芸術祭実行委員会負担金などの補正予算が提出されました。

次ページでは補正予算の中からいくつかの事業について紹介をしていきます。

補正予算の中から4つの事業を紹介

Pick up
01

【子育て】送迎保育ステーション 令和8年4月開設！

1億9,082万5千円 債務負担行為 R7~12年度

令和8年4月、アルカサール内に定員30名の送迎保育ステーションが開設されます。駅前子どもを預けることができ、電車通勤をする保護者の利便性向上が期待されます。本事業では、令和7年度から令和12年度までの5年間の運営を見据え、債務負担行為として計上しています。職員6名分の人件費をはじめ、送迎バスのリース代、保育備品や消耗品、光熱水費、施設・駐車場の賃借料、登降園管理システム利用料などが含まれます。



【環境整備】道路等補修工事 及び 道路等草刈業務委託

Pick up
02

2億2,000万円 (道路等補修) 債務負担行為 R7~8年度

1億6,102万9千円 (道路等草刈業務) 債務負担行為 R7~8年度



市内を6地区に分け、市道などの補修工事を行います。令和7年度中に契約を行い、令和8年度当初から速やかに工事に着手できる体制を整えます。道路パトロールや市民からの通報をもとに、優先度を判断しながら、状況に応じて柔軟に対応していきます。また、令和8年度から、道路草刈り業務の実施地区を4地区から7地区に細分化します。猛暑による作業環境に配慮し、草刈りを迅速かつきめ細かく行える体制を整えます。

Pick up
03

【教育】令和8年度中学生平和学習派遣事業

411万4千円 債務負担行為 R7~8年度

中学生を広島市に派遣し、平和記念式典への参加や現地での学習活動を通じて、戦争の悲惨さや平和の大切さを深く理解するものです。



【障がい者福祉】障害者自立支援給付事業

Pick up
04

3億334万8千円



市内および近隣市において事業所数が増加したことにより、障害福祉サービスの利用者数が増えています。増加した市内事業所は、児童発達支援事業所が4事業所、放課後等デイサービス事業所が3事業所、保育所等訪問事業所が1事業所、グループホームが6事業所となっています。

物価高騰対策に対応する追加補正予算が12月18日に可決されました

【議案第25号】令和7年度印西市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の補正



今回は追加の予算もあります！

補正前の額	補正額	補正後の額
567億23万円	12億5,062万8千円	579億5,085万8千円

〈主な内容〉

- ◆プレミアム付デジタル商品券 4億7,805万円
- ◆物価高対応子育て応援手当 4億7,057万9千円
- ◆物価高騰対策高齢者支援 1億8,350万8千円
- ◆ひとり親世帯への給付金 793万9千円

まちづくりを問う



一般質問

議員は、市民の代表として印西市の市政全般について幅広く質問することができます。これに対し市は、今後の事業計画や現状を説明し、議論を深めていきます。

一般質問は、市民の声を市政に届け、より良い印西市を作るためにとても重要です。

令和7年第4回定例会では、12月1日から12月5日に個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

個人質問

1. 山田喜代子 …………… P5	11. 小川 利彦 …………… P10
2. 増田 葉子 …………… P5	12. 藤江 研一 …………… P10
3. 都築真理子 …………… P6	13. 金丸 和史 …………… P11
4. 大崎 亜希 …………… P6	14. 加藤 亮二 …………… P11
5. 軍司 俊紀 …………… P7	15. 鈴木 博美 …………… P12
6. 林 勝利 …………… P7	16. 大野 忠寄 …………… P12
7. 岩崎 成子 …………… P8	17. 海老原作一 …………… P13
8. 津田 憲吾 …………… P8	18. 松尾 榮子 …………… P13
9. 稲葉 健 …………… P9	19. 米井 重行 …………… P14
10. 板橋 睦 …………… P9	20. 松谷 知美 …………… P14



録画中継はこちらから



お知らせ

いんざい議会だより

令和8年(2026年)2月 No.215

問 谷津・大地の自然を守れ

答 グリーンインフラを進めていく

山田 喜代子議員



質問1 千葉ニュータウン地域外の市街化調整区域は「緑の基本計画」により本来は全て保全されることになってい

る。しかし40戸連たん制度により農地転用が続き、住宅の増加が著しく、自然環境への影響が大きい。開発を止める手立てはないのか伺う。

都市建設部長 開発許可制度は都市計画法に基づき良好な都市環境を形成するために、一定規模以上の土地開発行為を行う場合に必要となる制度である。市が抱えている課題もあることから今後検討する。



豊かな里山と住環境を守れ

質問2 地域防災計画における避難場所は生活弱者にとつて十分な設備が整っているか。

総務部長 指定避難場所にあるのは福祉避難スペース、授乳室や女性更衣室を確保するとともに、テントやパーテーション、多目的トイレを備えており今後は体育館への空調設備の設置を進めている。また感染症専用室も設けている。

質問3 印西市マンション適正化推進計画について伺う。市の全世帯の3割を超える世帯が分譲マンションに住んでいる。安心して住み続けることができるよう、劣化診断調査費の助成、長期修繕計画作成費の助成、工事費融資の保証料や利子補給等、市としての支援についてはどうか。

都市建設部長 マンション管理士派遣事業や管理講習会を通じて、支援していきたい。

問 都市計画税の減税を

答 今後時期と税率を検討していく

増田 葉子議員



質問 都市計画税は年々歳入が増加する一方で、千葉ニュータウン事業の地方債償還金が減少し充当先は減っている。令和6年度には7億5千万円の歳入超過だった。都市計画税は都市生活の基盤となる施設の整備のための目的税であり、充当先がなければ減税すべきだ。令和8年度から12年度の財政計画ではどのような見通しをもっているのか。

企画財政部長 歳入は増加傾向となり、充当先は償還金が減少する一方で、印西クリーンセンター次期施設整備の負担金が増加する。

再質問 次期財政計画中の償還金は総額いくらになるか。

答弁 約13億円を見込む。

再質問 印西グリーンセンター次期施設整備はどうか。

答弁 約20億円となる。

再質問 歳入の見込みは。

答弁 約102億円の見込み。

再質問 現在の税率、充当先を継続した場合、5年間で40億から50億の歳入超過となるのではないか。速やかに税率を下げるべきだ。

答弁 継続的に歳入超過が見込まれる場合は、税率の引下げを行うことになる。

再質問 「継続的」とは何年間の放置か。すでに令和4年度から歳入超過だ。税率はどこまで下げられるか。

答弁 現時点で申し上げられない。今後の状況を踏まえ、検討していく。



印西市ホームページに掲載された「都市」風景

問 誰もが地元園に通える体制整備を進める

答 市内園で学べる体制整備を進める



都築 真理子議員

質問 幼稚園における加配職員
の現状について伺う。

健康子ども部長 市内私立幼稚園における加配職員の配置状況は1クラスに1人配置、学年全体に1人配置、配置していないなど、様々であることとを把握した。公立のものとの幼稚園では、令和7年4月1日現在、7クラス105名の児童が在籍しており、各クラスに加配職員として、補助教諭が1名から2名配置されている。

再質問 このばらつきを市としてどのように評価しているか。加配が必要な児童が十分



誰一人取り残さない、皆で学び、遊ぶインクルーシブ教育

な支援を受けられる体制づくりに向けて、改善策を検討しているか伺う。

答弁 市としては、配慮の必要な児童が十分な支援を受けられる体制づくりに向けて、市内の私立幼稚園と意見交換を考えている。

再質問 インクルーシブ教育の推進についてどのように考えているか伺う。

答弁 配慮が必要な児童のための設備整備や加配職員の不足等の解決が不可欠である他、それぞれの幼稚園が掲げる特色ある教育方針との両立も課題であると認識している。

再質問 解決するための支援体制、方策について考えはあるか。

答弁 公立幼稚園である、もとの幼稚園での受け入れ体制整備が考えられるところである。

問 人材を育て地域で活かす仕組みを

答 市民の雇用の機会に配慮していく



大崎 亜希議員

質問 全国的に働き方の多様な地域への担い手不足が課題となる中、市が実施する「人材育成講座」は、終了後の支援やフォローアップ体制が十分とは言えないと考える。今後こうした体制を整えていく考えはあるのか伺う。

環境経済部長 令和7年度から「女性向け起業スクール」を開催し、起業家に必要な知識の習得や受講者同士のつながりを支援してきた。また、当該スクール受講者を含め、起業して間もない方々を対象にフォローアップセミナーの

開催を予定しており、継続的な支援体制の強化に努めているところである。

再質問 女性向け起業スクールは、令和8年度以降も実施する予定か。

答弁 今回定員を上回る申し込みがあったことから、非常に高い関心とニーズが確認できた。受講者同士の情報交換や協力関係の構築だけでなく、起業への意欲が高まったとの声が多く寄せられたことから、令和8年度以降も引き続き実施する方向である。

再質問 公民連携事業にて、市民を雇用し参画を促す仕組みづくりをする考えはあるか。

市長 PFI事業においては、市民の雇用機会の創設を見据え、市内の企業やスタッフの積極採用を条件としている。今後も市民の雇用機会について配慮していく。



働く意欲を持つ人たち

問 社会教育は地域で推進可能か

答 価値を共有することが重要

軍司 俊紀議員



質問 地方自治体の組織編制は柔軟に決定でき、経営効率化や住民サービス向上のために、複数の事業や会計を所管する組織を設置することが可能だ。社会教育施策と地域コミュニティ施策を一緒に推進することでも更なる発展を目指すとのことだが、専門性や中立性、教育・普及との連携をどのように確保するのか。

保は教育委員会との連携を継続し、専門職や外部有識者の助言を受ける体制を整える。

再質問 文化財行政では専門性や中立性が重視される「教育」的側面と、住民参画や地域振興が重要な「地域コミュニティ」的側面が時に相反すると言われる。二つの融合を推進する上で、どのような課題を最も重要視しているのか。

総務部長 社会教育施策と地域コミュニティ施策を一体的に推進することで、市民主体の学びと交流が強化されると考える。専門性や中立性の確保



地元有志団体による管理・活用が行われている道作古墳

教育部長 地域の文化財を守るためには、本質的に地域コミュニティが持続可能であることが必要だ。そのため、教育的側面を維持しつつ地域コミュニティを創生できるよう、市と住民が同じ方向を向き、地域の文化財の価値を共有することが重要だと認識する。

再質問 「文化財保存活用地域計画」の策定状況は。
答弁 計画策定には至っていない状況である。

問 共同親権と子の安全について

答 国の動向を注視していく

林 勝利議員



質問1 共同親権制度施行に伴い、離婚後の「子の連れ去り」「所在不明」などのトラブルを防ぐため、どのような相談通報・一時保護体制を整えるのか。

健康子ども部長 離婚後も父母双方が子の養育に関わり、子の利益を最大限に確保するための重要な施策であると認識している。国の定める法律や政令、ガイドライン等の動向を注視し、円滑な運用ができるよう準備を進めていく。

質問2 経済的理由によりフリースクールに通えない家庭に対し、通所費助成や交通費補助などの支援策を検討すべき

質問3 千葉ニュータウン中央駅南口歩道の全面改修または舗装材変更を検討すべきではないか。

市長 駅前広場は整備から30年以上が経過しており、歩道部分については経年劣化に伴う不具合が生じていることから、現在、改修について検討しているところである。改修にあたっては、歩道部分の改修のみならず、千葉ニュータウン中央駅の玄関口であると考えている。



親子の絆

問 ふれあいセンターいんばの進捗は

答 令和9年4月1日に利用開始予定



岩崎 成子 議員

質問1 今後の、ふれあいセンターいんば複合施設の在り方、方向性の見解は。

市長 印旛地域における拠点施設としての役割を十二分に発揮できるように、ハード面である備品等の整備はもとより、市民に寄り添い、機能強化となるよう適切な職員配置にも努めていきたい。方向性としては、各施設が個別に機能するのではなく、横断的に連携し、市民が集い、学び、憩え、触れ合える場として活用される施設を目指している。

質問2 集会施設整備事業補



改修および複合化工事中のふれあいセンターいんば

助金交付要綱の改正について進捗状況は。

市長 新築・増築の場合の補助基準額の増額や、バリアフリー化も含めた改築・改修工事を新たに対象事業とするなど、令和8年度からの補助事業の拡充に向け、現在、補助金交付要綱の一部改正の準備を進めているところである。

再質問 交付要綱の一部改正の概要は。

市民部長 改正案として、新築・増築の場合の補助基準額は、現行の1平方メートル当たり15万円を20万円に増額。修繕については、新たに外構工事も対象とするとともに、補助率2分の1で、現行の上限50万円を150万円に増額。また、新たに補助率2分の1で、上限600万円とする改築・改修工事も対象事業とする予定である。

問 危険ブロックの解消状況は

答 実施計画の目標値に達していない



津田 憲吾 議員

質問1 通学路上における危険ブロック塀の現状は。

都市建設部長 令和7年9月時点で195箇所である。

再質問 年度毎の解消状況は。

答弁 令和4年度が8件、令和5年度が10件、令和6年度が2件、調査開始した平成30年度から令和6年度に改善したのは39件である。

再質問 危険ブロック塀除却に対する補助金について、上限金額を見直す考えは。

答弁 補助金上限の見直しの具体的な検討は行っていない。

再質問 危険ブロック塀の解消件数を増やしていくための対応は。

答弁 所有者自らが主体的に実施していくことが重要であり、周知方法を検討する。

質問2 市内公共施設の照明のLED化の現状は。

環境経済部長 屋外照明等を除いた公共施設98施設のうち、28箇所においてLED化が完了している。

再質問 財政的メリットは。

答弁 初期費用は必要になるが、消費電力が低く、長寿命であるため、長期的な視点で捉えた場合は、財政的メリットが大きい。

再質問 今後のLED化については。

市長 維持管理コストの削減に加え、CO₂排出量の削減という観点からも重要な取り組みと認識している。



LEDの取り換えが済んでいない市役所本庁舎の蛍光灯ランプ

問 終戦80年、市長の認識は

答 平和の尊さを次世代に伝えていく

稲葉 健議員



質問 終戦80年にあたり、市長はどのような認識を持ち、どのような思いでこの節目を捉えているか。

市長 令和7年は、我が国が終戦を迎えてから80年という大きな節目の年にあたる。この80年という歳月の中で、我が国は戦争の惨禍を乗り越え、平和国家としての歩みを進めてきた。この節目にあたり、改めて平和の尊さを次世代に伝えていくことは、私たち地方自治体の責務であると認識



印西市文化ホールで行われた戦没者追悼式

している。特に、戦争体験者が少なくなっていく中で、平和教育の重要性はますます高まっている。本市においても、学校教育をはじめ、平和に関する展示・戦争体験者による語り部活動などを通じて、子どもたちが戦争の悲惨さと平和の大切さを学ぶ機会を確保していきたいと考えている。

再質問 印西市として平和行政をどのように位置付け、今後どのように進めていくのか。

総務部長 非核平和都市宣言を平成7年に宣言し、平和首長会議への加盟をはじめ、平和の標語募集、千羽鶴の制作、原爆写真パネル展示、平和の鐘撞きなど平和を考える取り組みを行ってきた。今後は、中学生平和学習派遣事業など学校教育を中心に平和に関する学びの機会を充実させていきたいと考えている。

問 平和条例の制定をしないのか

答 現時点で制定は考えていない

板橋 睦議員



質問1 平和条例制定の進捗状況について。

総務部長 条例という形で理念を定めることについては、慎重に考えている。

再質問 平成7年に宣言した「非核平和都市」宣言に基づき、平和事業を展開して新たな取り組みを進めるとのことだが、平和条例の制定はせず、平和事業を推進していくという姿勢でよいのか。

答弁 平和条例の制定については、現時点で結論を出すものではないと考えている。平和事業については、取り組み内容を見直しながら実施して



印西平和の鐘

いきたい。

質問2 佐倉印西線の荒野交差点は、市道から進入する際に視界が悪いが改善策は。

都市建設部長 視距の確保がしづらい状況なので、カーブミラーの修繕を行った。

再質問 この交差点で安全を確保することは難しいと思うが、竜腹寺方面に約100メートル進んだ場所にある進入口に接続することはできないか。

答弁 現地の状況を確認する。

質問3 松山下公園アクセス道路の進捗状況について。

都市建設部長 令和7年度は進捗していない状況だ。

再質問 整備時期を見直すとのことだが、本道路事業が白紙になることはないのか。

答弁 整備そのものを見直すものではない。整備時期を考慮する必要があると考える。

問 市内の不法投棄の現状認識は

答 対策を講じる必要がある

小川 利彦 議員



質問1 不法投棄の被害を受けた土地所有者への対応は。

環境経済部長 町内会などから撤去や防止策への協力が得られる際には、市は不法投棄物の処分などの協力をしている。

再質問 県管理道路のポイ捨てに対し、どう対応するか。

答弁 ごみゼロ運動において、市職員で回収を実施した他、県印旛土木事務所と協議の上、監視カメラを設置した。

質問2 学校等の教育施設に関する認識について伺う。

教育部長 毎年、管理職が各小中学校を訪問し、施設管理



印西市職員によるゴミ回収

に関する学校からの意見や要望を聞き取り、施設の現況把握に努めている。

質問3 各中学校で給食ランチミーティングを実施しているが、その時に聞いた要望などをどう実現していくのか。

市長 給食ランチミーティングで聞いた生徒の様々な意見や要望は、できる限り改善していきたいと考えており、生徒の声を大切にし、より良い教育環境の整備に努めていく。

質問4 成田空港の「第2の開港」を見据えた在り方は。

環境経済部長 成田空港の機能強化は、まちづくりの最大の契機になるものと考えており、空港関連企業の誘致や従業員の住居の受け皿、また増加するインバウンドの取り込みなど、期待される様々な効果を最大限に享受できるように対応する。

問 1人1万円の応援券発行の対応は

答 政府推奨事業メニューに沿って検討

藤江 研一 議員



質問1 急速な物価高対策として高齢者に対する1人1万円の応援券発行の対応は。

企画財政部長 現在1人1万円の計画はないが、国の重点支援交付金の推奨事業メニューに沿って検討している。

質問2 タクシー利用助成実証実験は、助成金額1回800円分を複数枚使用できるよう改善できないか。

企画財政部長 利用状況やタクシー会社の運行体制などを検証し、福祉部門と連携して制度の見直しを検討したい。

質問3 発達障害情報ポータルサイトの活用は。

教育部長 令和6年度より特別な支援を要する児童生徒の指導支援を補助する教育ソフトを、市内4小中学校にトライアル導入し、教職員が利用している。

質問4 学校施設内の草刈り業務を業者委託に移行し、教職員は児童に向き合う業務を行うべき。当市の状況は。

教育部長 現在小学校13校、中学校8校で業務委託済み。未委託の小学校5校、中学校1校は、業務委託を検討中。

質問5 民生委員が必要定数の8割に留まる点の改善は。

市長 町内会・自治会による推薦に加え、自己推薦による募集を増やす。また、地域イベントでの活動紹介や、若年層への広報強化など、新たな取り組みを進め、定数不足の解消を図っていく。



1人1万円の応援券発行の例
(千葉県神崎町の例)

問 市長マニフェストの達成状況は

答 概ね計画どおりと認識をしている

金丸 和史議員



質問1 市長はマニフェストの全てを1期目（4年）で達成しようと考えているのか。

市長 公約実現のロードマップを公表しながら、中間目標を設定し、4年以上かかるものについては、早期に方向性を示して実現に向けて取り組んでいきたい。

質問2 自治会等のデジタル化の支援の方策は。

市民部長 SNSやアプリ等を活用している他市の事例を調査するとともに、各自治会等や町内会自治会連合会（連合



ロードマップから

会）とともに検討を進めたい。

再質問 自治会等に対する助成方法の変更は考えてないか。

答弁 自治会等の負担を軽減しながら、助成の在り方を今後検討したい。

再質問 ホームページ作成や役員間の連絡ツール等、今後の支援の考え方を伺う。

答弁 各自治会等や連合会の意見を伺いながら、支援の方策を検討していきたい。

再質問 現在の自治会等への補助金であっても、デジタル化のために活用することできると思うが、デジタル化支援のための補助を別メニューとする考えはないか。

答弁 現在の町内会等活動補助金でもデジタル化に要する経費に活用はできるが、デジタル化について別メニューとしている他の自治体の事例もあり、今後、検討していきたい。

問 補助金申請漏れの補填財源は

答 今議会に補正予算を上程している

加藤 亮一議員



質問 令和7年度地域生活支援促進事業補助金の申請漏れが生じた経緯は。

福祉部長 補助金担当職員が、補助金を取りまとめたい別の担当職員が対応しているものと誤認し、県へ協議書の提出を行っていなかった。

再質問 財政と市民生活への影響は。

答弁 令和6年度の補助確定額を最大値として、405万1千円が不交付となる見込みだ。不交付となった補助金の対象事業は、障がいのある方への虐待の通報受理や相談支



全庁的な取り組みで信頼回復を

援などを担う重要な事業であり、事業の継続が必要なことから、今議会に補正予算を上程している。

再質問 市民の税金から補填を行う必要が生じたという点は、極めて重い結果である。「個人のミス」を指摘するだけではなく、組織としての課題を明確にし、今後の業務フローの改善につなげる必要がある。市としてどう対応していくのか。

市長 補助金不交付という重大な結果を招き、市政への信頼を損なったことを深くお詫びする。本事業を市役所全体の課題として受け止め、チェック体制の強化を言葉だけでなく、組織体制の抜本的見直し・再発防止に向けた仕組みの構築を、私が責任を持って進めていく。

問 搾乳表示の状況や取り組みは

答 児童館等に表示し周知・促進を図る

鈴木 博美 議員



質問1 安心できる子育て環境に向け、授乳室への「搾乳できます」掲示の状況は。

健康子ども部長 児童館や子育て支援センターなどの授乳室に「搾乳できますマーク」を掲示し、必要な方が安心して利用できるよう努めている。
再質問 民間施設にも協力を広げていく考えは。

答弁 関係団体や事業者等に対し「搾乳できますマーク」の掲示や搾乳環境の整備に向けた取り組みを働きかけるなど、周知・促進を図っていく。
質問2 市ホームページの案内が分かりにくいとの声を受



授乳室に掲示された市職員デザインの「搾乳できます」表示

け、市民目線の情報伝達と広報体制の在り方について伺う。

市長 見やすく理解しやすい発信へと工夫していきたい。また、職員が広報意識を持って情報発信することが重要と考え、市広報戦略を作成中だ。

再質問 戦略の中で市民目線の情報の届け方をどのような位置付けで検討しているのか。
総務部長 市民が必要とする情報を確実に届けるため、情報発信の手段や媒体をうまく活用することも戦略に記載したい。

再質問 戦略の完成時期は。
答弁 令和7年度中の完成を予定している。

質問3 合併浄化槽への転換推進と法定検査の徹底は。
環境経済部長 単独浄化槽設置者に補助制度の個別周知も有効と考える。未受検者への指導のため県とも協議する。

問 住宅地内へのイノシシの侵入は

答 学校等への出没を危惧している

大野 忠奇 議員



質問 捕獲頭数から見るとイノシシが最も多く捕獲されているが、被害の主な内容は。

環境経済部長 主な被害としては、農地への侵入、耕作環境の破壊ならびに作物の食い荒らしやそれらに伴う商品価値の低下および住宅庭先や農道、山林などの掘り起こしだ。
再質問 住宅地内へのイノシシの侵入被害対策は。

答弁 イノシシの生息範囲の拡大に伴い、住宅密集地域や学校等への出没の可能性については、市としても非常に危惧している。相談があった場



増え続けるイノシシの頭数と被害
「山林荒廃が原因」

合には、職員が現地の確認を実施した上で、委託先である猟友会および地区対策会の協力の下、周辺での捕獲等を進めるとともに、相談者に防護対策などを説明する対応を行っている。

再質問 実際に出没・遭遇した事例で被害を被った方はいたのか。また、学校向け対策講座の内容は。

答弁 出沒・遭遇による被害として、これまで市で把握している人身事故は、ぶつかられて転倒し骨折やケガをした事例が4件、他にも車両との衝突、飼い犬が襲われるといった事案を確認している。また、学校向け対策講座については、市内小中学校の安全主任教諭および児童生徒に対して、イノシシの生息や遭遇時の対策等について指導を実施している。

問 図書館を最適化せよ

答 改善に努めていく

海老原 作一 議員



質問1 市立図書館の基本方針および運営方針について。

教育部長 市民に情報提供と学習支援を行い、誰もが気軽に利用できる憩いの場を提供し、地域文化の創造と情報拠点としての機能を担い、市民参加と協働により図書館サービスの充実を図っていく。

再質問 市立図書館・学校図書館の連携について。

答弁 定期的な会議や意見交換を通じて、より有効な連携の方法を検討していく。

質問2 統計データを活用した政策立案について。



大森図書館

企画財政部長 統計データは、政策立案にあたって、現状の把握や課題の分析、将来予想の根拠となり、資源を効率的・効果的に活用した行政運営を進める上で重要である。

再質問 「EBPM」を基本としたデータや科学的根拠を重視する政策立案・計画策定を必須と考える市役所の文化を醸成してはどうか。

答弁 実践につながる環境づくりを進め、職員の意識の醸成につながるよう努める。

質問3 歳計現金および基金の運用に対する考え方は。

会計管理者 確実・安全性、流動性、有利・効率性を基本としている。

再質問 財政課が基金の運用計画を策定し、会計課が一括運用することで事務の単純化や運用効率になるのでは。

答弁 財政課と調整する。

問 家族で楽しむ魅力的公園づくりを

答 再整備やPFI導入など検討する

松尾 榮子 議員



質問 市の一人当たり公園面積は全国でも有数レベルだが、家族そろって出かけた魅力的な公園があまりない。再整備の考えは。

都市建設部長 公園利用者のニーズや利用形態、ライフスタイル等の変化に合わせ、公園の再整備に活かすことは重要である。様々な検討を行っていききたい。

再質問 浦幡新田公園は、初期の公園整備では、調節池の景観が公園の一部として修景され、水辺や自然が楽しめる魅力的な公園であったが、現在では調節池周りの草木が伸び



草木に覆われ水辺が見えなくなった浦幡新田公園 (上2010年、下現在)

び放題で、公園の景観を逆に阻害している。公園内の調節池を県と調整し整備することはできないか。

答弁 同公園の調節池は千葉県の管理であり、水辺を生かした良好な景観を保っていくよう申し入れしていく。

再質問 県立北総花の丘公園Aゾーンは、コスモスパレットと隣接し行き来が可能になったことから、多くの親子連れなどが集まるにぎわいの場所になってきた。大型遊具や飲食施設等を設置すればさらに魅力が増し、利用も増すと思うが、パークPFIの導入について県と協議していく考えは。

市長 北総花の丘公園は県の施設ではあるが、市民の利用機会も多く地域としても貴重な資産である。県としっかりと情報共有していきたい。

問 木下駅南口公共用地活用方針は

答 早期に整備開始できるように努める

米井 重行 議員



質問 木下駅前にぎわい広場（旧日本デキシー跡地）は、

歴史ある木下地区の中心に位置し、観光振興や地域経済の活性化に資する、非常に大きな潜在力を持つ用地である。駅前で約3haというまとまった公有地は本市にとっても希少であり、単なる「広場」ではなく、周辺地域のにぎわい創出・観光振興の核となるべき拠点である。駅周辺は歴史ある商店街を抱えながらも近年、空き店舗の増加や通行量の減少が見られる。跡地の活

用を地域商業や観光振興と、どのように連携させるか。

企画財政部長 木下駅前にぎ

わい広場の地域経済、まちづくりは、駅からの近接性や敷地面積の広さなどの地の利を活かし、人々の交流や木下駅前周辺の経済循環の起点となるような活用方法を検討する。

再質問 市が現在策定を進め

ている「木下駅南口公共用地活用方針」は、この跡地の将来像を左右する大変重要な方針であり、地域の方々、そして事業者の方々も高い関心を持ってしている。この方針は、今後どのようなスケジュールで具体化を進める予定か。

答弁 今後のスケジュールに

ついては、令和8年度から、具体的に地域の方々と共に、活用の方向性について検討を進め、早期に整備が開始されるよう努める。



活用が望まれる
木下駅前にぎわい広場

問 部活動地域移行の地域格差解消を

答 生徒に不利なように拠点を決定

松谷 知美 議員



質問 指導者の確保や活動機会の偏りをどう把握し平準化を図っていくのか伺う。

教育長 指導者確保について

は地域クラブへの移行で改善されつつあると考える。在籍する学校にない部活動に参加するなど、新たな活動機会を創出している事例もある。今後も同様に、生徒に不利がないようにという視点を念頭に置き、教職員の働き方改革を進めていく考えである。

再質問 指導者数や活動拠点

の違いは、参加機会を左右する重要な要素である。地域格

差を見える化し、現状を客観的に把握することが必要であるが市は分析に取り組むのか。

答弁 先行実施の部活動は条件を踏まえて活動拠点を決めている。令和8年9月の本格

実施も同様に各学校の顧問とも連絡・調整を図り、できる限り生徒に不利が生じないように決めていきたいと考える。

再質問 交通の便が限られる

地域や、少人数の学校での活動継続のための検討状況は。

答弁 活動が困難な部活動に

ついては、市全体の地域クラブとして稼働することにより、困難さの改善を図っていく。

再質問 移動手段確保など具

体的な対策の検討状況を伺う。

答弁 クラブに通うためのシヤトルバスの検討をしたが、運行の確保が困難のため現時点では自力以外の移動手段については検討していない。



令和7年度モデル実施クラブの
軟式野球

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。各委員会に付託された議案と審査内容の一部を要約して掲載します。

建設経済常任委員会

環境経済部・都市建設部・上下水道部・農業委員会を所管

市道の総延長4027路線、1185kmに



【議案第6号 印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】建築基準法施行令の一部を改正する政令の施行により、引用する条項番号の整合を図るもの。

問 施行期日を公布の日からとした理由は。

答 条例改正に関する建築基準法施行令の一部を改正する政令が令和7年9月3日公布され、令和7年11月1日より施行されたことから、公布の日からとするもの。

問 施行期日を公布の日からとしているが、

周知期間は必要ないのか。

答 今回の改正については、条項番号の変更

のみで、認定手続や手数料額の変更を行わないことから、周知期間は必要ないものと考えている。

【議案第23号 印西市道路線の認定】

【内容】印西市内71路線、総延長1万488メートルについて認定するもの。

問 今回の道路線の認定について、道路整備

されてから数年経過してい

るものが含まれているが、市道認定が今になった理由を伺う。

答 今回認定する路線は全て開発行為で整備

された道路であり、開発完了後に事業者から提出された道路台帳が令和7年度に整ったため。

問 開発完了後、市に道路が移管するまでに

何か問題があった場合、責任は誰が負うのか。

答 市道が認定されるまでの間は引継ぎが完了していないことから、協定の取り決めにより、開発業者に管理していただくことになる。



認定された市道

番号	件名	結果
議案第6号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第23号	印西市道路線の認定	可決
議案第24号	印西市道路線の変更	可決

選挙運動の公費負担を引き上げ

【議案第2号】 【内容】 選挙運動

用ポスターおよびビラ作成の公
営に要する経費に係る条例改正

問

限度額引き上げの理由は。

答

公職選挙法施行令の一部
改正に伴い、最近の物価
変動等を踏まえ、選挙運動に必
要な経費の実態に即して限度額
を引き上げるものである。



ポスター掲示板

【議案第3号・議案第4号】 【内

容】 一般職の職員の期末手当等
の支給月数の改定を考慮して、

市議会議員および常勤の特別職
の職員の期末手当の支給月数等

を令和8年4月から改める条例
改正

【議案第5号】 【内容】 人事院勧

告および千葉県人事委員会勧告
に準じて、民間企業の給与水準

との均衡を図るため、一般職の
職員の給料月額等を令和7年4

月から改め、また、期末手当等
の支給月数を令和7年12月から

改める条例改正

問

印西市の引上げ率が国お
よび千葉県と違う理由は。

答

国および千葉県は給料表
の職務の級が10級までだ

が、市は8級までとなっており、
条件が同じではないため。

【議案第15号】 議案第18号（一
括議題） 【内容】 コミュニティ

センターの指定管理者の指定
を、それぞれ令和8年4月1日

から令和13年3月31日まで行う
もの。

もの。

問

仕様書の見直しはいつ行
うのか。

答

指定管理者選定委員会が
行われるときおよび緊急
に対応が必要なことが起きた時
に見直しを行う。

問

指定管理者が行う修繕を
行う場合、1件20万円と
している根拠は。

答

事務指針を参考に20万円
未満としている。



番号	件名	結果
議案第2号	印西市議会議員及び印西市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第3号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第4号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第5号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第14号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の一部廃止及び千葉県市町村総合事務組規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決
議案第15～18号	指定管理者の指定（中央駅北・中央駅南・永治・船穂各コミュニティセンター）	可決

審査結果

文教福祉常任委員会

福祉部・健康子ども部・教育委員会を所管

総合福祉センター保全改修工事へ

【議案第12号 工事請負契約の締結】

【内容】印西市総合福祉センター保全改修工事のための工事請負契約を締結。（13億9千700万円）工期は契約締結後令和9年2月26日迄。

問 具体的な工事内容は。

答 機能回復を行う。流し台や給湯器、大人用のおむつ交換台、親子で使えるトイレ等を新たに設置し、授乳コーナーのリニューアル、車椅子トイレの改修の他、Aグループ福祉作業所についてはトイレを2カ所に増設する。

問 築年数は。

答 総合福祉センターが平成8年11月で築28年。Aグ



改修の対象となったAグループ作業所

ループ福祉作業所は平成9年3月竣工でほぼ同じ築年数となる。

問 Aグループ福祉作業所は著しく老朽化している。

改修工事ではなく、新規に建て替えるを行った方が良いのでは。

答 建て替えとなると建築確認申請等の手続きを行うことで、1年以内に工事が終わらなくなるため、利用者の特性を考慮しながら、なるべく短期



間で一時移転先から戻っていただくことを優先し、改修工事を選択した。Aグループ福祉作業所の改修については、委員からのご意見を踏まえ、工事契約の中で調整を行うとともに並行して建て替え等も含め、検討する。

【議案第22号 指定管理者の指定】

【内容】印西市文化ホールの指定管理者を指定する。

問 指定管理者となった費用の差額は。

答 直営に比べて年間約1千万円程経費の節減が図られている。

問 処遇に影響はないか。

答 物価上昇等人件費の増も計算しているので問題ない。

番号	件名	結果
議案第1号	印西市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	可決
議案第7号	印西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定	可決
議案第8号	印西市立児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第9号	印西市立子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第10号	印西市立子どもふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第12号	工事請負契約の締結（印西市総合福祉センター保全改修工事）	可決
議案第13号	工事請負契約の締結（印西市立には野小学校屋内運動場保全改修工事）	可決
議案第19～22号	指定管理者の指定（印西市高齢者就労支援センター、印西市立クリオネクラブ、印西市立滝野学童クラブ・牧の原学童クラブ・牧の原第2学童クラブ、印西市文化ホール）	可決

正副議長の
動向我孫子市・印西市
まちづくり
連絡協議会

令和7年11月27日に我孫子市クリーンセンターで連絡協議会総会が開催されました。参加者は、市長、正副議長、副市長と関係部長等です。

令和7年度事業計画案（両市のまちづくり等に関する調査、研究、調整等）を審議後、公共施設跡地や公有財産などを活用した官民連携、公民連携の取り組みについて情報交換し、最後に我孫子市クリーンセンターを視察しました。



「声の議会だより」を作成しています

目が不自由など文字による情報入手が困難な方のために、「議会だより」をCDに録音した「声の議会だより」を印西市社会福祉協議会に委託し、作成しています。

配布を希望される方は、障がい福祉課☎0476(33)4639までご相談ください。



陳情

第7-9号
▼陳情書は本会議での決裁を求めます
〈議員配付〉

第7-10号
▼陳情書 申請書類で求められる「振り仮名」はカタカナに統一すべし
〈議員配付〉

第7-11号
▼総合福祉センター1年間休館に関する議会審議の陳情
〈議員配付〉

第7-12号
▼生涯学習・文化・文化財行政の市長部局への移管計画の撤回を求める陳情書
〈議員配付〉

第7-13号
▼保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書
〈議員配付〉

表紙の
写真

文化庁の伝統文化親子教室に「将棋」「神楽」「邦楽囃子」「能楽」の4事業が採択され、令和7年初夏から秋にかけて、体験フェスタ、成果発表に向けた稽古がそれぞれの団体で実施されました。稽古風景と、30回記念となった印西市民文化祭での一枚です。

日常生活で「鼓」を手にすることはほとんどないでしょう。触れるだけでなく実際に稽古を重ねて発表もできました。伝統文化のバトンを次代に渡せる事業となったでしょうか。



令和7年第4回定例会 議案と審議結果一覧

全会一致議案一覧

番 号	件 名	番 号	件 名
〈 議 案 〉 (市長提出)			
議案第2号	印西市議会議員及び印西市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第14号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の一部廃止及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議
議案第4号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第15号	指定管理者の指定 (中央駅北コミュニティセンター)
議案第5号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第16号	指定管理者の指定 (中央駅南コミュニティセンター)
議案第6号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	議案第17号	指定管理者の指定 (永治コミュニティセンター)
議案第8号	印西市立児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第18号	指定管理者の指定 (船穂コミュニティセンター)
議案第9号	印西市立子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第20号	指定管理者の指定 (印西市立クリオネクラブ (障害児放課後対策事業所))
議案第10号	印西市立子どもふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第22号	指定管理者の指定 (印西市文化ホール)
議案第11号	令和7年度印西市一般会計補正予算 (第4号)	議案第23号	印西市道路線の認定
議案第13号	工事請負契約の締結 (印西市立いには野小学校屋内運動場保全改修工事)	議案第24号	印西市道路線の変更
		議案第25号	令和7年度印西市一般会計補正予算 (第5号)
		諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること (酒巻 善春氏)

番 号	件 名	議決結果	大崎 亜希	大野 忠寄	加藤 亮二	鈴木 博美	津田 憲吾	都築 眞理子	林 勝利	松谷 知美	稲葉 健	小川 利彦	米井 重行	岩崎 成子	海老原 一作	増田 葉子	松尾 榮子	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田 喜代子	藤江 研一	近藤 瑞枝		
〈 議 案 〉 (市長提出)																									
議案第1号	印西市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
議案第3号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第7号	印西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
議案第12号	工事請負契約の締結 (印西市総合福祉センター保全改修工事)	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	
議案第19号	指定管理者の指定 (印西市高齢者就労支援センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	
議案第21号	指定管理者の指定 (印西市立滝野学童クラブ・牧の原学童クラブ・牧の原第2学童クラブ)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、—=その他
 ※議長 (近藤瑞枝) は採決に加わりません。

「DXの推進」および「新庁舎整備」等の研修

令和7年10月15日から17日まで、静岡県袋井市、愛知県あま市、西尾市を視察しました。

袋井市

印西市は子育て世帯の人口増加が続いており、人口動態調査・増加率が全国の市で3位であった。人口増加に伴い、住民サービスの向上および、

充実を図るには窓口対応の在り方や業務の迅速化が求められている。

袋井市で行われているデジタル推進計画の内容および実施状況についての「らくらくサポートの窓口」システムは市民の利便性の向上、職員の業務の効率化やスキルアップに繋がる、良い取り組みであると感じた。

あま市

印西市において人口増減格差の課題や将来的な人口減少・高齢化について、長期的な視点で公共施設の配置を行わなければならない。

あま市の「新庁舎整備に向けた取り組み」については、市街化調整区域内の田園地帯での建設計画であったため、



開発申請や地盤強化など、多くの課題をクリアしなければならなかったことがよく分かった。

当市が現在、抱えている課題に対して参考になる内容であった。

西尾市

LINEアプリを活用したオンラインによる行政手続き

は市民がスマートフォンなどから申請・支払いまで完結できる仕組みで、利便性の向上とともに、窓口業務の効率化にも繋がっている。特に、幅広い世代に浸透しているLINEをデジタル窓口として活用する発想は、住民にとって身近で利用しやすく、行政DX推進の好例と感じた。



総務企画常任委員会視察報告



次世代を見据えた「文化・教育・交流」の基盤整備を研修

令和7年10月29日から31日まで青森県八戸市、弘前市、青森市を視察しました。

八戸市

「本のまち八戸」構想と公設公営書店について研修した。読書文化を柱に書店を運営。専門人材の選書や創作支援スペースを提供し、文化を「享受」だけでなく「生み出す」側を支援する仕組みを構築し



ている。市民作家登録や小学生へのブッククーポン事業も実施し地域全体の読書推進を図っており、専門的運営と創作支援の循環は印象的であった。印西市も図書館や文化施設と連携し、読書を通じた学びと繋がりを育む場づくりを検討する上で、多くの示唆を得た。

弘前市

子育て支援施設（駅前こども広場）を視察した。スーパー撤退後の駅前商業施設「HIRORO」3階を行政が購入整備。子育て・健康など4機能を1フロアに集約し、多世代交流拠点としている。お年寄りの健康増進設備が充実し、多世代交流と地域商業への波及効果を生んでいる。駅



前ビル利活用の事例は、印西市の課題解決に大変参考となった。

青森市

次世代型学校教育と持続可能な学校システムの構築及び特別支援教育について研修した。長年の小中連携事業を継続し、情報引継ぎ等で中1ギヤップを緩和。また、「誰一人取り残さない」理念のもと、

ICT活用等で通常・特別支援学級の別なく、個別最適な学びを保障している。中学校区単位でのコミュニティ・スクール定着や、継続的な小中接続の実現は大きな学びであった。印西市での義務教育学校開校を控え、学びの連続性や個別最適な学びの実現を検討する上で有益な示唆となる。



文教福祉常任委員会視察報告

ウォークアブルなまちづくりの取り組みなどを視察

令和7年10月20日から22日まで佐賀県武雄市、長崎県佐世保市、佐賀県庁を視察しました。

武雄市

新幹線西九州ルートの開業を契機に、西九州のハブとして武雄温泉駅周辺の整備を行った。観光関連事業者が中心に、民間と市が協働で企画整



備を行った。駅前広場にはWi-Fiを整備し、テーブルや椅子を設置したことで、気軽に市民が利用できるスペースを展開している。

佐世保市

公園や市道などの公共空間を活用し、回遊性の高い空間を創出している。地域住民や地元商店街、民間団体、高校



生が連携してイベントや社会実験を実施し、官民が連携して街中のにぎわいを創出している。商店街の空き店舗にWi-Fiを設置し、オープンスペースとして活用し、補助金を活用した取り組みがなされている。

佐賀県庁

SAGAサンシャインフォレストを指定管理者とするSAGAサンライズパークは令和5年に開業し、多目的な競技が可能となるスポーツと文化の一大拠点となっている。当施設は防災施設として地域防災において活用可能となっており、被災地外からの救援物資の受け入れ、一時保管、積み替えの拠点として指定されている。また当施設では専



用駐車場を設けておらず、既存の公共サービスを最大限に活用した持続可能な交通対策を行っている。佐賀駅から当施設までの人の流れをつくることで、ウォークアブルな都市整備がなされている。

にぎわいを創出する各自治体の取り組みは、印西市の今後のまちづくりに大変参考となる視察でした。

議会改革に向けた北海道行政視察

令和7年11月10日から12日にかけて、北海道の浦幌町・芽室町・釧路市の3自治体を訪問し、議会改革や議会運営に関する先進的な取り組みについて行政視察を行いました。

浦幌町

議会活性化の継続的な取り組みに加え、災害時にも議会機能を維持するための「議会BCP（業務継続計画）」について説明を受けた。自然災害が多い中、議会としての備えを平時から整える重要性を改めて認識する機会となった。



芽室町

議会活性化の取り組みを「実行」と「評価」の両面から整理し、PDCAサイクルに基づく改善手法を学んだ。また、市民が議会に主体的に関わる「議会サポート制度」について視察し、市民参加を促す仕組みとして大変有意義であった。



釧路市

議会広報広聴特別委員会による分かりやすい広報紙づくりや、議会報告会の運営方法について説明を受け、市民との双方向の対話を重視した取り組みを学ぶことができた。

今回の視察で得た知見を生かし、印西市議会としても、より開かれた議会の実現に向けて、これまで以上に積極的かつ前向きに取り組んでまいります。市民に寄り添う姿勢を大切にしながら、丁寧な議会運営を進めていきます。

編集後記

寒さが厳しい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。本号では、昨年12月に開催された議会の内容をお届けします。市民生活に関わる課題や施策について活発な議論が行われ、さまざまな視点から意見が交わされました。議会での話し合いや決定事項を振り返り、市政をより身近に感じていただく一助となれば幸いです。

今後も分かりやすく、開かれた議会を目指し、丁寧な情報発信に努めてまいります。引き続き、市民の皆さまの声を大切にしながら、より良いまちづくりに全力で取り組んでまいります。

(林)

委員長	藤江 研一
副委員長	林 勝利
委員	大野 忠寄
〃	鈴木 博美
〃	津田 憲吾
〃	増田 葉子

議会運営委員会視察報告

住みやすい街印西市

印西中学校

3年 松本有紀子
まつもと ゆきこ



私が住んでいる印西市は、四季折々の景色が楽しめて、豊かな自然がある一方、人口が11万人を超えており、千葉ニュータウンを中心に発展し、大型の商業施設が数多くあり、便利で暮らしやすい街です。今年、4月からは千葉ニュータウン中央駅の近くで、「コスモスパレット」の芸術ホールが利用開始になりました。

私に通っている印西中学校では、現在、体育館の改修工

事が行われており、空調設備が整う予定です。子どもと保護者が暮らしやすくなるように、工夫しているのを感じ、とても感謝しています。中学校では吹奏楽部に所属していましたが、印西市ではイベントが多く行われているので、演奏する機会がたくさんあり、お客さんも多く来てくださいました。様々な場所で経験を積むことができ、大変充実した部活動生活を送ることができました。

また、子育て世帯の経済的負担を減らすために昨年から、市立の小・中学校の給食費無償化となりました。「住み続けたい街（自治体）ランキング2025年」首都圏部門で、神奈川県3自治体に続く4位に入っていました。誇らしい気持ちとともに、印西市民全員がずっと住み続けたいと思う街への発展を強く願っています。

令和8年 第1回定例会 会期予定および日程

令和8年第1回定例会は、2月16日(月)から3月17日(火)までの会期予定です。

最新の日程は、ホームページでご確認ください。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継及び委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問合せください。

【印西市議会事務局】
☎0476(33)4614



いんざい君 © 2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
2/8	2/9 議会運営委員会	2/10	2/11 建国記念の日	2/12	2/13	2/14
2/15	2/16 本会議 (議案上程)	2/17 本会議 (会派代表質問)	2/18 本会議 (会派代表質問)	2/19 本会議 (個人質問)	2/20 本会議 (個人質問)	2/21
2/22	2/23 天皇誕生日	2/24 本会議 (個人質問)	2/25 本会議 (個人質問)	2/26 予算審査 常任委員会	2/27 予算審査 常任委員会	2/28
3/1	3/2 予算審査 常任委員会	3/3 予算審査 常任委員会	3/4 予算審査 常任委員会	3/5 総務企画 常任委員会	3/6 文教福祉 常任委員会	3/7
3/8	3/9 建設経済 常任委員会	3/10	3/11	3/12	3/13 本会議 (議案の採決) ※予算議案のみ	3/14
3/15	3/16 議会運営 委員会	3/17 本会議 (議案の採決)	3/18	3/19	3/20 春分の日	3/21

